



日章学園九州国際高等学校校長便り 皇月
 建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す
 学園スローガン：やり抜く力
 学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。
 令和3年(2021年)5月6日(木)校長 屋田伸仁



現在、日本だけでなく、世界中のテレビや新聞は、毎日朝から晩まで新型コロナウイルスや変異ウイルスのニュースでいっぱいです。第4波到来です。一方、延期された東京オリンピックの開催に向けて、日本全国を巡る聖火リレーも始まりました。えびの市も4月26日に聖火リレーが行われました。また、競泳の池江璃花子選手が白血病を克服して、見事オリンピック代表選手に内定されました。日本全国に感動が湧き上がりました。日本の明るい希望や未来に向かって私たちも一緒にがんばりましょう！

さて、5月の晴天の空を見上げると鯉のぼりが元気よく泳いでいます。鯉のぼりは我が子の健康と成長を願う日本の伝統文化です。鯉のぼりを見て、自分も志を高く掲げてがんばりたくなります。そこで志を立てる「立志」について考えたいと思います。「志」の字形からどんな教えや心の形が見えてきますか。プラス思考（+心）とプラスワン（+一）が見えてきませんか。プラス思考になると、もう少しがんばろうというプラスワンの気持ちも湧いてきます。先生から、漢字百字の宿題が出された。百字だと、他の人と同じだ。自分はもっとがんばりたい。百十字書こう。また、先生から、運動場十周走りなさいと言われた。自分はもっと、運動能力を高めたいので、十一周走ろう。このように、プラスワンの努力が、積み重なって、大きな成果を生みます。志の字にそのような力を感じます。



次に、志を使った格言や歌を紹介します。NHK大河ドラマの「晴天を衝け」で、主人公の渋沢栄一が幕末の志士達とともに活躍する場面が出てきました。志士とは、志のある武士のことです。志士平野国臣が詠んだ歌は、桜島を見て、日本を変えたいという熱い思いが伝わってくる歌です。

我が胸の燃ゆる思いに くらぶれば 煙はうすし 桜島山

次は、論語の孔子の言葉を紹介します。孔子が15才になって将来自分のめざす道を考えます。それは商売の道でない、政治の道でもない。学問の道だと覚悟を決めた言葉です。

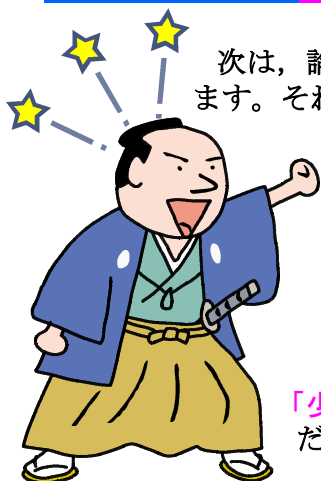
「十五志學」

ちなみに、志學館大学の学名はこの志學から来ているのだと思います。

もう一つ紹介します。札幌農学校のクラーク博士の有名な言葉です。

‘Boys, be ambitius!!’

「少年よ、大志を抱け」小さい志から始めるのもよし。しかし、小さい志を積み重ね、だんだん大きくしていきましょう。そして、最後には、大志を抱きたいものです。



皆さんにぜひ、志を立てて、この1年間、がんばってほしいことがあります。それは資格取得です。本校は国際高校として、特に英語検定と中国語検定の資格取得を奨励しています。資格は就職、進学にも役立ちます。今のコロナの時期だからこそ、部屋にこもって、時間をかけて、じっくり集中して取り組むことができます。ちなみに、私は、去年は中検の準4級と4級に合格したので、今年は3級に挑戦しようと思います。生徒の中には昨年英検2級に合格した人もいます。また、本校の先生達も漢検や中検に挑戦しています。皆さんも、ぜひ、この1年間に一つ以上の資格が取得できるようがんばってください。資格取得以外にも自ら進んで「夢と志」がいっぱいあふれる、有意義な1年にしましょう。